

【様式 2】

平成 1 3 年 度 授 業 実 践 結 果

学校名：岐阜県立郡上高等学校

授業者等	授業日	平成 14 年 1 月 11 日	学 年	1 年総合学科
	授業者	寺村 敏	教 科	産業社会と人間
	校 種	小・中・ <u>高</u> ・特	単 元	情報化社会について
	ねらい	1．コンピュータやインターネットの普及による利点と問題点を知る。 2．情報化社会で必要なものを知る。 3．今後、情報化社会の進展で可能になることを知る。		
授業の流れ	以下、マイクロソフト社製ソフト「パワーポイント」、実物投影機を使用して、進行した。			
	1．コンピュータやインターネットが普及し、それによる利点を知る。 (約 5 分)			
	2．1．とは逆に、その問題点を知る。(約 1 0 分)			
	3．情報化社会を生きていく上で、必要な能力を知る。(約 1 0 分)			
	4．今後の情報技術等の発達により、可能になること(在宅勤務など)を知る。 (約 1 0 分)			
	5．今後の社会で、心掛けることを知る。(約 5 分)			
	6．情報化社会の中で、自分がどう関わっていくつもりかを考える。 (約 1 0 分)			
考察	本時は、前時と異なり提示する図などは少なく、パワーポイントを使う必要性はあまり感じられなかった。しかし、情報化社会を生きて行く生徒達にとって必要な能力や、心掛けることを一番伝えたかった内容であったので、興味を持たせるという点ではよかったと考える。 本時は、伝える内容が前時より少なく、時間的に余裕があったために、授業の進度はゆっくりであった。 2 時間を通して、生徒は画面に集中して講義を聴いていた。			

I T 活用が分かるように記述願います。